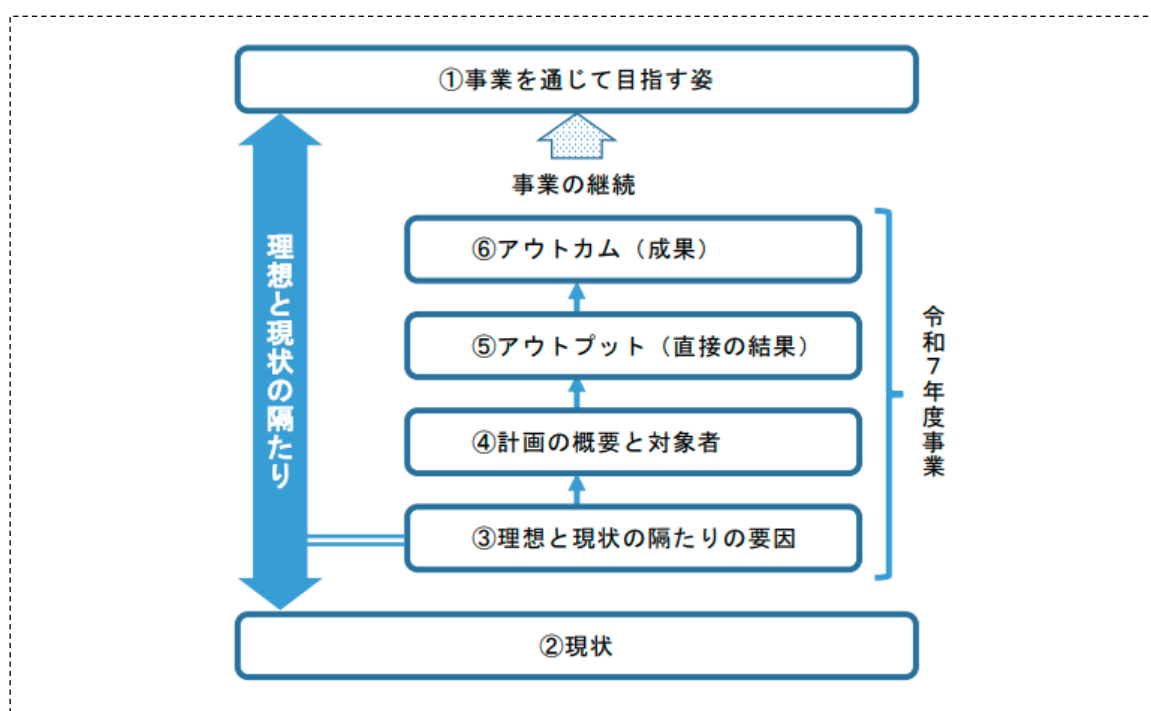


事業計画書

事業名	倉敷市で増えていく空き家の問題を解決するための支援事業
団体名	一般社団法人相続と空き家の相談窓口

◆ 記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



1 目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。「地域や社会、人のどんな問題を解決し、どのような状態にしたいのか」を具体的に記入してください。

事業を通じて目指す姿は、倉敷市で増える空き家を1件でも多く減らすことです。

空き家が増えると、景観や印象的な問題から周辺の不動産価値が下がると、税収が落ちます。倉敷市の税収を高めるためには、空き家の存在は倉敷市にとって大きな問題です。

そんな空き家を1件でも減らすため、空き家になることでの経済的なマイナス面やリスクを空き家所有者に知ってもらい、空き家にしないための事前準備と、危機管理の意識を高めるための啓蒙活動や情報発信を行い、空き家の発生を抑制するための活動を行います。

2 現状

上記1の目指す姿と比べて、現在はどのような状況にありますか。

- ・倉敷市内に多くの空き家が放置されている。
- ・空き家の所有者は、空き家に対して危機感がなく空き家を見て見ぬふりをしている。
- ・空き家の相談をどこにしたらいいかわからない方が多く存在し、売れない空き家や安価な不動産などを不動産業者は相手をしてくれない現実がある。
- ・空き家は相続から発生しているケースが圧倒的に多く、実家が放置されている。

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

上記1と2の隔たりを生み出している主な原因はどのようなものと考えますか。

- ・空き家に対する危機感を持っていない方が多い。
- ・空き家になることのマイナス面を理解していない方が多い。
- ・空き家の管理の仕方や注意点、リスクなどの情報を知る機会がない。
- ・空き家は相続時に多く発生し、どう対応していいかわからない方が多い。
- ・実家の相続時に、家族同士で争いが起こり、空き家を放置されるケースが多い。

4 計画の概要と対象者（令和7年度）

上記3で挙げた要因を取り除くため、どのような人を対象に、どのような活動を実施しますか。150字以内で簡潔にまとめてください（計画の詳細は下記7に記入してください）。

現在の空き家の所有者や相続人や相続人予備軍を対象に

- ・空き家と相続についての講演会と個別相談会を開催する
- ・空き家と相続についての情報発信をする
- ・倉敷市の公民館の講座等で講演会や相談会を行う

活動を継続的に行う。

◆ アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。

アウトプットとアウトカムの関係

事業を実施すると、まず、〇〇〇というアウトプットが生じ、次にその成果として、△△というアウトカムが生じる関係にあります。

事業実施→アウトプット→アウトカム

◆ アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム
学習支援事業	学習会の開催	月4回、各回20名参加	参加者の学習意欲の向上
就労支援事業	冊子作成・配布	1千冊作成、800人に配布	就労に必要な知識の習得
保護者支援事業	居場所の運営	週2回、各回15名参加	育児の負担感の緩和
移動支援事業	高齢者の送迎	週2回、各回5名利用	移動手段の選択肢の増加

5 アウトプット（直接の結果）

令和7年度の事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスを提供しますか。

- ・毎月講演会と相談会を合わせた相談会を、倉敷市民に向けて行う。
- ・倉敷市と情報発信方法を考え、倉敷市民に空き家と相続についての情報提供を行う。
- ・空き家所有者に対して、直接的にアプローチ出来ないか、倉敷市と協議していきたい。

アウトプットを測る指標と数値目標を記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
講演会&個別相談会の開催	参加者7組×12回	120組（参加者10組×12回）
団地での講演会と説明会	未実施	年間2団地で説明会開催
倉敷市からの講演の依頼	年1回	年2回

事業実施後の数値目標は、どのような方法で測りますか。

参加された人数を数え、参加者としてカウントします。

6 アウトカム（成果）

上記5のアウトプットが、令和7年度中に、地域や社会、人にもたらす変化や効果はどのようなものですか。

参加者一人一人に、空き家にしない意識を持ってもらうために、現在の現状を示す現在地を知ってもらい対応方法の選択肢を提供し、行動を促す提案を行う。
空き家所有者一人一人の認識を高めることで、地域へ好影響を与えていくことになる。
講演会の参加者が、講演会の評判が広がるよう継続的に行う。

7 計画の詳細

(1) 具体的な内容

※内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらいなど、できるだけ明確に記入してください。

1 講演会&個別相談会の開催（定期的に）

約二年間やってきた、講演会と個別相談会を毎月継続して計12回開催する。
空き家と相続の、問題点を情報としてお伝えしその問題に直面している方や関心を持っている人を対象に暮らし健康福祉プラザ（予定）で講演会を実施する。
空き家の問題に対し、リスクや管理方法など空き家の解消方法をお伝える。

2 出前講座（随時）

倉敷市の公民館等の講座で、空き家と相続のセミナーを行う。

(1) 空き家問題の事例紹介

全国や岡山県などの空き家問題の事例を紹介し、実際の問題点の情報を提供する。

(2) 空き家等対策の推進に関する特別措置法の説明

立法の背景から空き家の定義の説明をする。

「特定空き家等」と判断し勧告に至った場合のリスクを知ってもらう。

(3) 倉敷市内の高齢化した古い団地で、空き家のセミナーを行う。

倉敷市内の団地の空き家問題を解消するため、団地でセミナーを行う。

不動産価値の保つために、住民同士で意識を高める必要があることを伝える。

(2) スケジュール (準備～実施～報告)

4月	講演会&個別相談会の開催 (会場：くらしき健康福祉プラザ)
5月	講演会&個別相談会の開催 (会場：くらしき健康福祉プラザ)
6月	講演会&個別相談会の開催 (会場：くらしき健康福祉プラザ)
7月	講演会&個別相談会の開催 (会場：くらしき健康福祉プラザ)
8月	講演会&個別相談会の開催 (会場：くらしき健康福祉プラザ)
9月	講演会&個別相談会の開催 (会場：くらしき健康福祉プラザ)
10月	講演会&個別相談会の開催 (会場：くらしき健康福祉プラザ)
11月	講演会&個別相談会の開催 (会場：くらしき健康福祉プラザ)
12月	講演会&個別相談会の開催 (会場：くらしき健康福祉プラザ)
1月	講演会&個別相談会の開催 (会場：くらしき健康福祉プラザ)
2月	講演会&個別相談会の開催 (会場：くらしき健康福祉プラザ)
3月	講演会&個別相談会の開催 (会場：くらしき健康福祉プラザ)

(3) 実施体制

上記(1)の計画を実施するにあたり、実際に取り組む団体会員を記入してください。また、人件費を支払う予定の団体会員には、人件費欄に「有」を記入してください。

氏名	事業に有効な資格や経験	人件費
内川 良太郎	宅建士・行政書士・上級相続診断士・空き家コンサルタント・空き家アドバイザー協会会員	
内川 陽子	宅建士・行政書士事務所の補助者	
小田 政和	片付けの専門家	
平田 裕明	保険の専門家	
青葉 洋明	司法書士	
掛水 孝朗	税理士	
山口 祐司	宅建士	
岡崎 聖也	山林の引き取り業者	
10名を超える場合は、外〇〇名としてください⇒		外 () 名

8 受益者負担 ※事業の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

(1) 徴収する (見込み： _____)

(2) 徴収しない (理由： _____ 参加率を上げるため _____)